

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス スタースマイル		
○保護者評価実施期間	令和6年1月16日		令和7年1月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25名	(回答者数) 9名
○従業者評価実施期間	令和6年1月16日		令和7年1月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月17日		

○分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	男性スタッフを含め、スタッフの人数が多いことから児童と関わる時間が多くある。	男性スタッフや、児童と個別に対応できる機会が多いことから、運動面や活動なども幅広く行える。地域行事の参加やクッキング、お店へ買い物訓練などを行っている。排泄面では、個別に時間を決めて声掛けをしたり、絵カードや言葉で伝えてもらいトイレへの支援を行っている。	親子遠足や親子で参加するレクリエーションの開催などで、保護者同士も関わる機会を増やす。又、地域の行事への参加や、児童クラブ・老人クラブ等地域の方との交流の場を増やしていく。
2	戸外活動や公園、体育館など公共の場を使用して体を動かす活動がある。	一日一回は、戸外に出て体を動かしたりする活動に取り組んでおり、戸外の場所も飽きないように毎日変更している。また、日によっては戸外活動や室内遊びなど児童自身に選択してもらい取り組めるようにしている。	戸外活動は多いが、室内活動のバリエーションが不足している為、制作や室内でできる遊びを充実させていく。
3	学習面において、スタッフが側に付いてサポートを行っている。	学習担当のスタッフが一名付いており、児童は30分間座って集中し、学習や個人トレーニング等を行う。その他にも補助でスタッフが付き添っている。おやつの中には、50円分の好きなお菓子を計算しながら取ってもらう。	学習時において分からない問題があったり、そのつど勉強に対しての意欲や、児童一人一人特色がある為、情緒を理解・把握した上で対応や声かけ等を行っていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	土曜日や長期休暇は、児童の人数が多くけがをする危険性が高い。	ホールの広さが児童の人数に比べると狭いことから、ヒヤリハットの起こる率が高い。男子児童の人数が多いことや、活発であることからホール内で中々落ち着かない。車椅子を利用している児童がいる。	活動内容によっては部屋を分け、女子児童も過ごしやすい環境づくりを行う。利用児童の利用日の見直しを行う。(○曜日と△曜日は高学年など)
2	戸外活動は多いが、室内活動のバリエーションが不足している。	室内遊びがマンネリ化している。	色々な遊びや制作ができるように、職員同士で話し合いアイデアを出していく。
3	児童への決まり事や、ルールが曖昧である。	決まりごとに対応しづらい児童へのルール作りが難しい。	子どもの実態を捉えて、ルール作りを行う。